

2013年2月20日

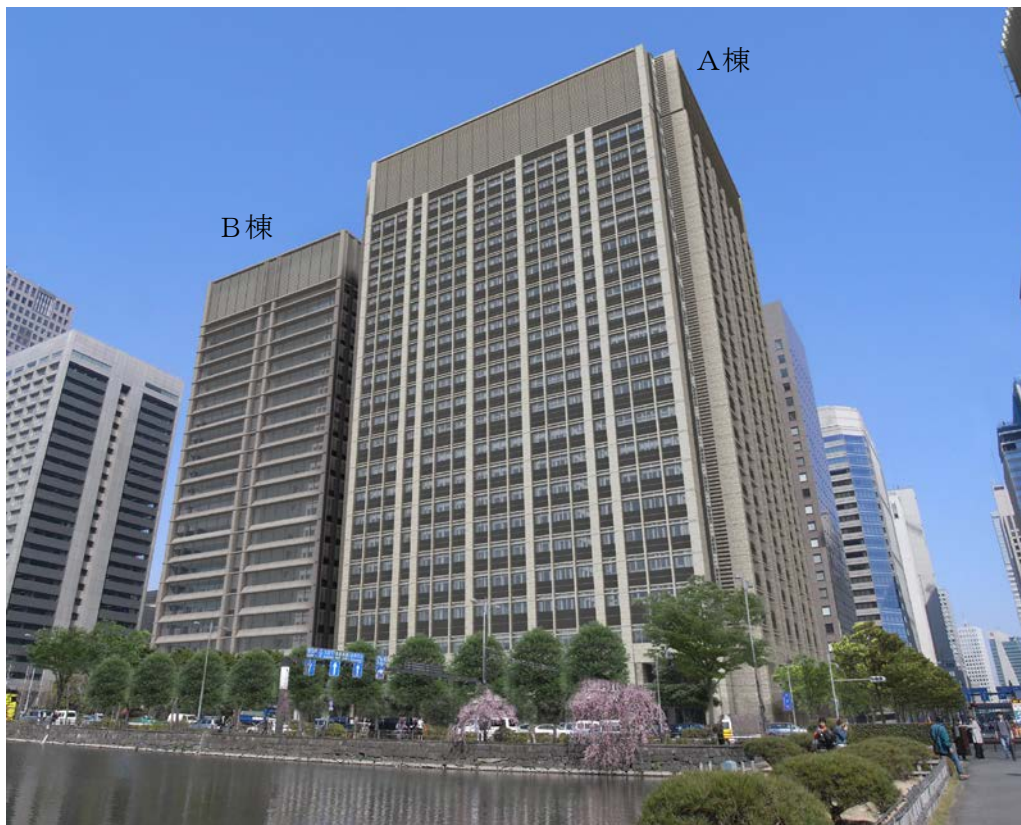
各位

三菱地所株式会社  
JXホールディングス株式会社

## 「(仮称) 大手町1-1計画A棟」 新築工事着工のお知らせ

三菱地所株式会社（東京都千代田区大手町一丁目、社長：杉山 博孝）とJXホールディングス株式会社（東京都千代田区大手町二丁目、社長：松下 功夫）は、千代田区大手町一丁目において共同で進めてまいりました「(仮称) 大手町1-1計画A棟」の新築工事に、本年2月20日に着手することになりましたので、お知らせいたします。

なお、竣工後の建物には、JXグループの本社機能が入居する他、三菱地所株式会社が賃貸オフィスビルとして運用する予定です。また、本計画は、隣接地で三菱地所株式会社が推進する「(仮称) 大手町1-1計画B棟」と一体で、2012年6月11日に都市再生特別地区の都市計画決定を受けております。



外観イメージパース（大手門から）

本件に関するお問い合わせ先  
三菱地所株式会社 広報部  
Tel 03-3287-5200  
JXホールディングス株式会社 広報部  
Tel 03-6275-5002

## 1. 計画概要

- 所在地 東京都千代田区大手町一丁目1番2号（住居表示）
- 主要用途 事務所・店舗・駐車場等
- 敷地面積 約6,900㎡
- 延床面積 約108,000㎡
- 容積率 1400%
- 階数 地下5階、地上22階、塔屋2階
- 建物高さ 約100m
- 構造 地上：鉄骨造 地下：鉄骨鉄筋コンクリート造
- 設計監理 株式会社三菱地所設計
- 施工 鹿島建設株式会社・株式会社NIPPO
- 新築工期 2013年2月20日～2015年11月中旬（予定）

## 2. 本計画の特徴

### □国際金融拠点「大手町」に相応しい高度高質な国際的業務機能の整備

- 敷地西側近傍に皇居東御苑並びに皇居外苑濠（大手濠）の豊かな水と緑を臨み、隣接するB棟経由で地下鉄5路線が乗り入れる「大手町駅」に直結するなど交通利便性にも優れた立地特性に相応しい、高度で高質な国際的業務機能を整備します。
- 1フロアあたりの面積はA棟が約2,750㎡（約830坪）と、大手町エリアでも最大級の大型オフィス空間を実現します。

### □国際ビジネスセンターの機能強化に向けた多様な業務支援施設の整備

#### <ビジネス・エコシティ・センター>

- 環境ビジネスを行う国内外の企業・人材の情報交換・マッチングを促進する拠点として、次世代の環境技術に関するラボラトリー機能、環境に関する最先端の取組を可視化・情報発信するショーケース機能や、交流・啓発機能を備えたビジネス・エコシティ・センターを1階に整備します。

#### <ランニングステーション>

- 国際ビジネスセンターを支える就業者の健康維持・管理および相互交流のサポートを目的とした健康施設を地下1階に整備、皇居周辺のランナー向けに多様なサービスを提供するランニングステーション機能も備えます。

### □皇居外苑濠の水質改善など良好な都市環境の再構築

#### <濠水の浄化施設および大型貯留槽>

- 皇居および外苑濠に隣接するという立地特性を生かし、皇居外苑濠の水質改善に向けた官民連携の取組として、計画地内に濠水の浄化施設（処理能力：約50万㎡/年）および大型貯留槽（容量：約3,000㎡）を整備します。

#### <環境共生型コミュニティ広場>

- 皇居および外苑濠の水と緑と調和し、エリアのコミュニティ形成の核となる緑量豊かなコミュニティ広場（B棟敷地と合わせて約2,800㎡）を整備します。

#### <環境負荷低減への取組>

- 環境に配慮した外装や高効率設備の採用等により、東京都建築物環境計画書制度におけるPAL・ERRの「段階3」および建築環境総合性能評価システム「CASBEE」Sランク確保を目指します。

## □高度防災都市づくりに向けた取組

### <災害時の供給安定性に優れた大容量非常用発電機>

- 大規模災害等による停電や電力使用制限への対応として、従来のオフィスビルに多く導入されているA重油専燃の非常用発電機に加え、中圧ガス・A重油の双方に対応し、災害時の供給安定性に優れたデュアルフューエル型ガスタービン発電機を配備します。
- 敷地内に非常用発電機向け大容量オイルタンク（約25万L）を配備し、A重油のみで72時間以上の発電機運転を可能とします。これに加えて、中圧ガスの使用により更なる長時間運転を可能とし、テナント企業の業務継続を強力にサポートします。

### <多重的な止水対策>

- 水害対策として、1階部分や周辺建物等との地下接続部に千代田区洪水ハザードマップ（荒川版）において想定される浸水深に対応した防潮板・防水扉を設置します。これに加えて、電気室等の重要設備室にも防水扉を備える等、多重的な止水対策を講じます。

### <帰宅困難者対応>

- 大規模災害時に計画地周辺で発生が予想される帰宅困難者対応として、一時待機施設を建物内外に整備するとともに、食料・飲料水等の備蓄の強化や災害・交通情報の提供、マンホールトイレの設置など、帰宅困難者を支援するための多様な機能を整備します。

以 上

■案内図



■配置図

